

開かれた学校づくりをめざして

I 主題設定の理由

近年、教育改革として多方面から教育現場への施策や提言が出されている。特に「学校を開く」ことを重点に、外部講師の依頼、保護者・地域住民などを対象に行う学校評価・授業評価、学校評議会等、学校運営に関して外部の声を取り入れることも多くなった。こうした教育の流れは、学校と地域との連携や生涯学習との繋がりをますます強くするものと思われる。学校を開いていくその方法は、地域差があって当然であり、どのような方法をとることがその地域、子どもに合っているのか、よく吟味しながら行われなければならない。新しく導入される施策にばかり目がいきがちであるが、従来の仕組みについても検討しながら、よりよい改革をしていかなければならない。

本部会では「開かれた学校づくりをめざして」を研究テーマに学校を開くことの意味を問いながら、そのことが子どもの成長、学校の成長、地域の活性化に繋がるような取り組みについての検討を行ってきた。

II 研究の内容

1 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の柱

- ア 学校と地域との関わり方・連携の方策について
- イ 学校・子どもたちが地域の人々のつながりを生み出す実践
- ウ 研究の成果の共有

(2) 部員によるレポート報告をもとに協議し研究を深める。

各自、各校の実践を通して、子どもたちの変容の様子、問題点、悩みなどを提案し、それについて協議する。

(3) 保護者・地域との連携について授業実践を通して研究を深める。

2 研究の概要

- (1) 奥野田小「特別支援教育におけるコラボレーション…授業後」の実践発表
・中学校との連携…卒業までの経過報告（進学問題・将来について等）
- (2) 東雲小「親子レクリエーション」の実践報告
・保護者の主体的な親子レクのありかたについての実践発表
- (3) 玉宮小「市と連携しての問題を抱える児童の指導」実践発表
・家庭環境に問題を抱えた児童の対応を連携して行うには。
- (4) 後屋敷小生活科「たんけんはっけん大ぼうけん」の実践発表
・放課後保護者12人の協力のもと地域探検を行った実践等
- (5) 統一授業研授業案検討

- ・保護者、栄養士と連携した食育授業案の検討

(6) 授業研究 第1学年 特活「なんでもたべよう」加々美教子先生（後屋敷小学校）

ねらい…食べ物のはたらきを知り、好き嫌いなく何でも食べようとする意欲を持つ。

導入 …ペープサート

展開 …①食べ物の3つの働きについて知る。

②給食に使われた食品を3つに分類する。

③家の人の工夫を知る。（ゲストティーチャー保護者2名）

④学習のまとめをする。

成果・課題…栄養士の先生、保護者のゲストティーチャーが授業に関わったことで食の大切さがリアルに子どもたちに伝わった。

(7) 玉宮小学校の実践発表

- ・3年社会 昔の農家の生活や遊びについての生き生き人材活用授業発表

(8) 牧丘第三小学校の実践発表

- ・全校行事で父母や祖父母との交流 等

(9) 統一授業研授業案検討

(10) 授業研究 第3・4学年 学活「中村市長さんとのお話会を開こう」

廣瀬 剛先生（牧丘第三小学校）

ねらい…市長さんとのお話会を通してふるさと『山梨市』を愛する心を育む。

導入 …ゲスト（中村照人市長紹介、歓迎の歌）

展開 …意見発表「10年後の山梨市」、市長さんのお話、質問コーナー

終末 …ふりかえり（先生から、市長さんから、お礼の言葉）

成果・課題…担任が主導権を持って授業を行え、児童にとっても貴重な体験ができた。

(11) 統一授業の成果と課題 部会研究の成果と課題について

(12) 県外研修 文京区大塚小学校視察「NPO団体との連携について」

Ⅲ 成果と課題

1 成果として

○研究授業が充実しており、学校、保護者、関係諸機関との連携のあり方を学ぶことができた。

○連携をとりながら、授業を仕組むノウハウがわかり、授業に生かすことができた。

2 課題として

○子どもを常に主体においた授業を仕組んで行くためには、相手との打ち合わせを綿密に行い、学習目的をはっきりさせ主導権を持って進めていきたい。

○人数が固定化されているので、他校の情報をとりにくい。広く情報提供しあえるよう工夫していく必要がある。

○統一授業研の時だけでなく、様々な機会をとらえて学習の時を持てるようにする。

（部長 渡邊 由美子）